

# 機械カンパニー

優良資産の積増しとバリューチェーンビジネスの変革・進化を図り、更なる飛躍を目指します。

## 事業分野

- プラント・電力（水・環境、インフラ、再生可能エネルギー、石油化学、IPP）
- 船舶・航空（新造船・中古船仲介、船舶保有、民間航空機、航空機リース）
- 自動車（乗用車・商用車の国内外販売、事業投資）
- 建設機械・産業機械・医療機器（国内外販売、事業投資）



機械カンパニー プレジデント  
今井 雅啓

## カンパニーの強み

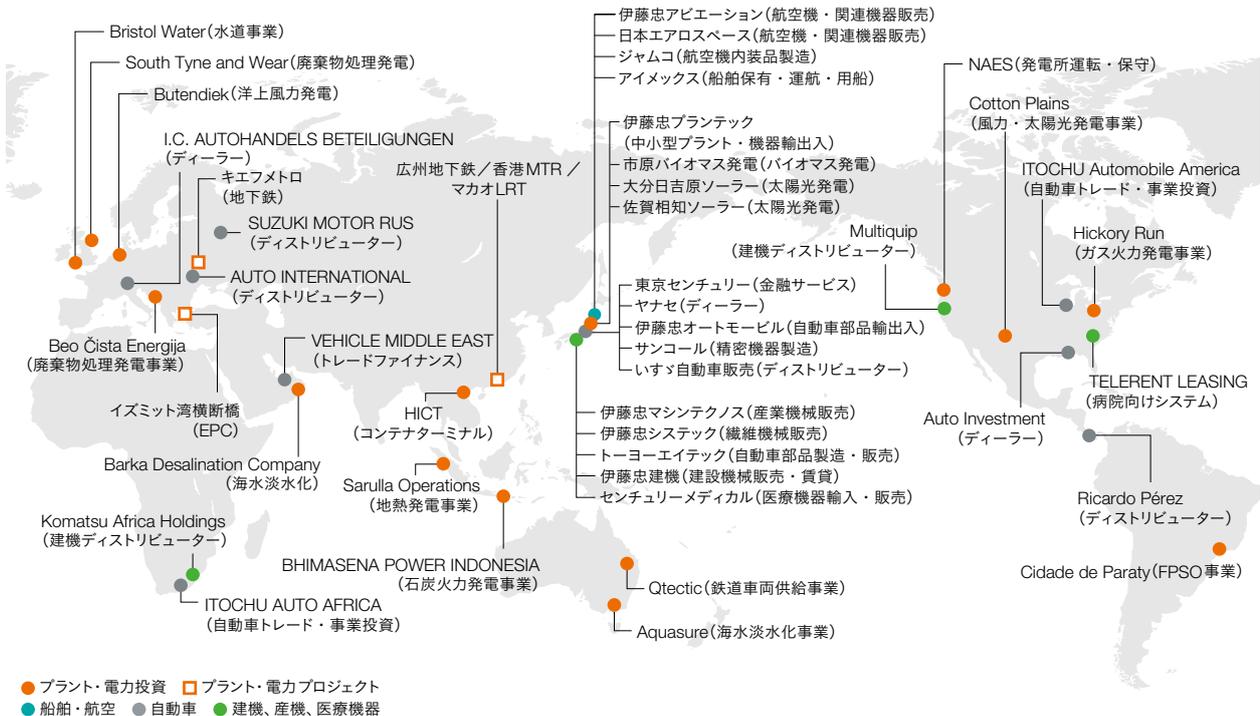
- 各事業分野における優良パートナーとの強固なビジネス関係
- 事業投資とトレードビジネスを両輪とした幅広い事業展開
- 先進国における多彩な事業及び新興国におけるカントリーリスクを抑えたビジネス展開



左から  
プラント・船舶・航空機部門長  
自動車・建機・産機部門長  
機械カンパニーCFO  
機械経営企画部長

佐藤 浩  
大杉 雅人  
渡辺 聡  
牛島 浩

## 事業展開



## バリューチェーンで見る主要な事業展開

※ 略称の正式企業名は、頁下段「業績推移」をご参照ください。

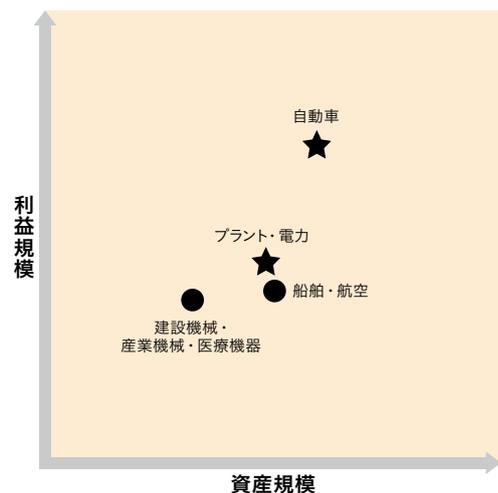
|                | 製造   | トレード・卸売                                | 小売                      |
|----------------|--|--|-------------------------|
| 船舶・航空          |  | アイメックス<br>4 ジャムコ*                      |                         |
| 自動車            | サンコール*   | いすゞ自動車販売* / Ricardo Pérez              | 5 ヤナセ / Auto Investment |
| 建設機械・産業機械・医療機器 |  | 6 伊藤忠建機 / 7 伊藤忠マシンテクノス / 8 センチュリーメディカル |                         |
|                | 投資・プロジェクト  |  |                         |
| プラント・電力        | [IPP関連] • 2 I-Power (Hickory Run) • Cotton Plains • Sarulla Operations* • Butendiek<br>• 市原バイオマス発電* • 大分日吉原ソーラー* • 佐賀相知ソーラー*<br>[水・環境関連] • 3 I-ENVIRONMENT (Bristol Water, South Tyne and Wear, Beo Čista Energija*, Barka Desalination Company*) • Aquasure |  |                         |

金融サービス

1 東京センチュリー\*

\* 持分法適用関連会社

## 資産ポートフォリオと効率性



※ ★は注力分野



ボーイング社提供

## 業績推移及び主要連結対象会社からの取込損益内訳

単位：億円

|                                     | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度(計画)*1 |
|-------------------------------------|--------|--------|--------|--------|--------------|
| 連結純利益                               | 546    | 484    | 464    | 571    | 630          |
| 主要連結対象会社からの取込損益内訳                   |        |        |        |        |              |
| 1 東京センチュリー(株)*                      | 91     | 96     | 102    | 125    | 130          |
| 2 I-Power Investment Inc.           | 21     | 21     | 10     | 53     | 19           |
| 3 I-ENVIRONMENT INVESTMENTS LIMITED | 9      | 11     | 8      | 19     | 9            |
| 4 株ジャムコ*                            | 17     | 15     | 4      | 6      | 6            |
| 5 株ヤナセ                              | 48     | 18     | 27     | 37     | 47           |
| 6 伊藤忠建機(株)                          | 9      | 8      | 7      | 6      | 6            |
| 7 伊藤忠マシンテクノス(株)                     | 5      | 7      | 11     | 8      | 11           |
| 8 センチュリーメディカル(株)                    | 10     | 3      | 5      | 5      | 6            |
| セグメント別資産                            | 10,836 | 9,781  | 9,897  | 12,186 | —            |
| ROA(%)                              | 5.4    | 4.7    | 4.7    | 5.2    | —            |
| 基礎収益                                | —      | 554    | 489    | 521    | —            |

※1 「2018年度(計画)」は、2018年5月2日公表の数値を表示しています。

※2 「\*」は持分法適用関連会社です。



## 「Brand-new Deal 2017」レビュー

IPP分野では、米国テキサス州における風力・太陽光発電事業への出資をはじめとした先進国における優良資産の積上げに加え、インドネシア・サルラ地熱発電事業の商業運転開始等、新興国における開発型案件の推進に注力しました。

水・環境分野では、オマーン最大の海水淡水化事業への参画、セルビア初の大型PPP（官民連携）となる廃棄物処理発電事業への取組みを決定する等、ESG投資を積極的に推進しました。

自動車分野では、強みであるトレードの拡大とバリューチェーンビジネスの強化を図るため、(株)ヤナセの連結子会社化、

パナマでのトヨタ・レクサス販売事業への参画を実行しました。

戦略的業務・資本提携パートナーであるCITICとは傘下のCITIC Pacific社と再生可能エネルギービジネス促進に向けた覚書を締結し、同社と共同で独・Butendiek洋上風力発電所の権益取得をはじめ、CITIC／CPグループの特色を活かした共同投資やトレードの拡大を実行しました。

「Brand-new Deal 2017」の最終年度となる2017年度は、国内外の事業・トレードの収益伸長が大きく貢献し、過去最高益更新を達成しました。

## 「Brand-new Deal 2017」における重要なステップ

### パナマでのトヨタ・レクサス販売事業への参画

当社は、パナマのトヨタ・レクサスの独占販売代理店Ricardo Pérez社株式の70%を取得し経営権を獲得しました。同社は1956年に設立し、長年に亘りパナマ新車市場におけるシェアNo.1の座を維持しています。当社の世界各国での自動車販売代理店経営の経験を活かし、パナマにおける同社の更なるシェア拡大及び企業価値向上を図ります。

また、自動車産業が大きな構造転換期に差掛かっている中、既存の販売代理店事業の運営・拡大にとどまらず、次世代モビリティ事業領域や環境・社会貢献を図る新たな事業モデルの構築等、自動車産業の更なる進化を推進すると共に、同国発展への貢献を目指します。

**RICARDO PEREZ, S.A.**



レクサスショールーム(外観)



レクサスショールーム(内観)

## 戦略の方向性

| 成長機会  | 戦略(打ち手)                                    |
|---|--|
| 人口増加と新興国の経済成長に伴う世界的なインフラ需要の拡大                     | 水・環境、IPP、自動車分野を中心とした既存案件の磨き及び資産入替、新規投資の実行  |
| テクノロジーの革新や人々の価値観・生活環境の変化                          | 自動車分野を中心とした既存バリューチェーンの変革、次世代ビジネスモデルへの進化    |
| 地球規模での経済的相互依存の高まりやビジネスモデルの高度化                     | 有力パートナーとのシナジー追求、協業深化                       |
| ESGの観点からの中長期的な成長阻害要因                              | 対応   |
| 温室効果ガスの排出に伴う石炭火力発電事業の規制、需要の低下                     | 国・地域ごとのエネルギー事情を考慮した再生可能エネルギー発電の投資機会の追求     |
| 二酸化炭素、窒素化合物の排出量に係る内燃エンジン自動車販売への規制強化               | EV・HV・環境負荷低減車及び関連部品等の取扱い増加                 |
| 水不足による農作物の不作、水質悪化及び廃棄物の不適切な処理に伴う生態系・人体への悪影響・病気の蔓延 | 水・環境事業の拡大を通じた水の適切な利用・処理及び資源の有効活用促進、環境負荷の低減 |

(⇒ Page 64 サステナビリティ)

## ESG リスクの低減に向けた取組み

### セルビア廃棄物処理発電事業の契約調印

当社は、仏スエズ社と共に、セルビア共和国ベオグラード市が推進する廃棄物処理発電事業に関するPPP（官民連携）契約に調印しました。本事業は25年間の事業運営権を通じ、廃棄物焼却発電施設の新設・運営を行い、ベオグラード市で排出される廃棄量の約7割に相当する年間34万トンの一般廃棄物を焼却処理し、その余熱で発電及び熱供給を行うものです。既存の最終処分場も閉鎖・管理し、新たに管理型最終処分場を建設・運営します。

環境負荷の低い廃棄物処理の導入等を通じて、廃棄物埋立量や温室効果ガスを削減し、セルビア共和国の環境保全への貢献を目指します。

持続的成長に向けた取組みは、当社ウェブサイト サステナビリティページも併せてご覧ください。

<https://www.itochu.co.jp/ja/csr/activities/machinery/>



建設する廃棄物焼却発電施設の完成予想図

### 重要な財務(普遍的)リスク

|                        |                    |
|------------------------|--------------------|
| 1 コンプライアンスリスク          | 10 為替リスク           |
| 2 法務関連リスク(コンプライアンスを除く) | 11 金利リスク           |
| 3 安全保障貿易管理に関するリスク      | 12 資金調達リスク         |
| 4 関税関連リスク              | 13 情報システムリスク       |
| 5 カントリーリスク             | 14 情報セキュリティリスク     |
| 6 商品価格変動リスク(特定重要商品)    | 15 労務管理リスク         |
| 7 信用リスク                | 16 人材リスク           |
| 8 投資リスク                | 17 財務報告の適正性に関するリスク |
| 9 株価リスク                | 18 内部管理に関するリスク     |

# 事業ポートフォリオと業績推移

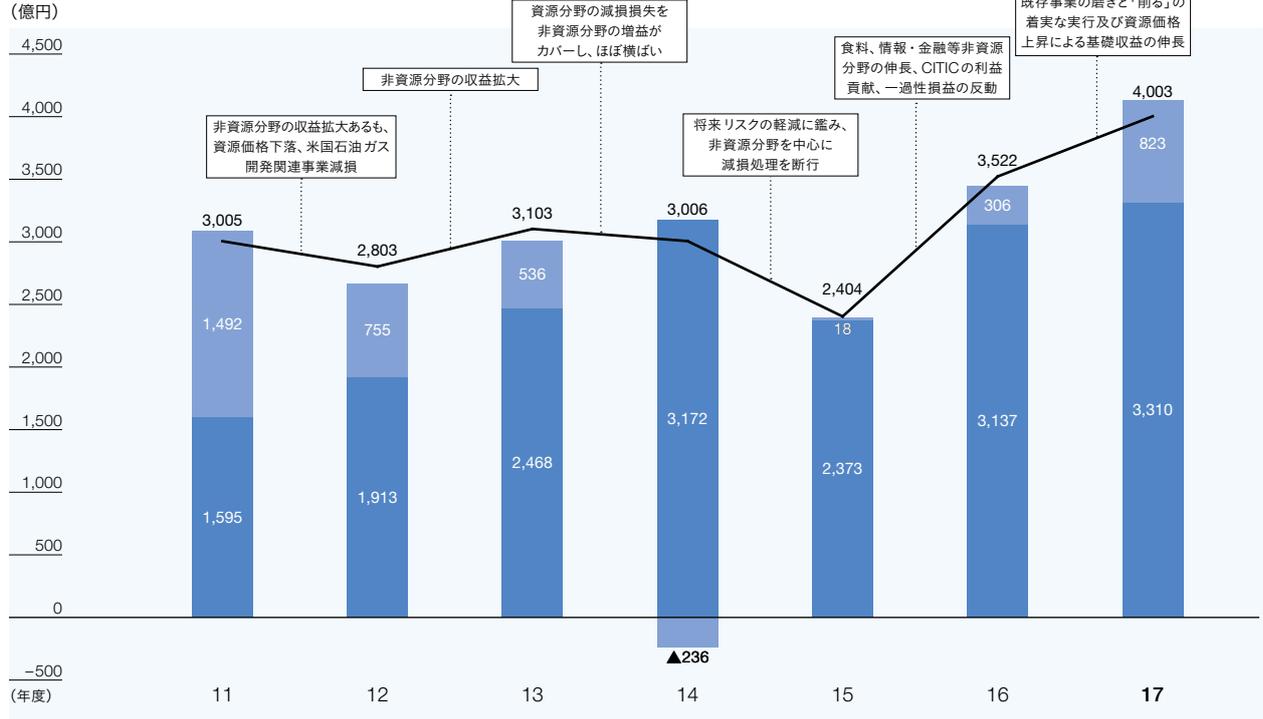
## セグメント概要

全社の各重要数値に占めるカンパニー比率(過去3年平均)



※ 2013年度以前は米国会計基準、2014年度以降は国際会計基準(IFRS)

### 連結純利益(非資源/資源)



一 連結純利益 ■ 非資源利益 ■ 資源利益  
 ※ その他及び修正消去は、非資源利益、資源利益に含まれておりません。

### オペレーティングセグメント別連結純利益



一 過性損益  
 ■ 繊維カンパニー ■ 機械カンパニー ■ 金属カンパニー ■ エネルギー・化学品カンパニー ■ 食料カンパニー  
 ■ 住生活・情報カンパニー(2014年度まで) ■ 住生活カンパニー(2015年度以降) ■ 情報・金融カンパニー(2015年度以降) ■ その他及び修正消去  
 ※ 2016年4月より、「住生活・情報カンパニー」を「住生活カンパニー」と「情報・金融カンパニー」に改編しました。